

MMO ゲーミングキーボード TK-DUX51BK ドライバー設定ガイド

このドライバー設定ガイドは、“TK-DUX51BK” に付属のドライバーを使った、すべてのキーへの機能割り当てやマクロの設定などの操作について説明しています。

※ドライバーのインストール方法については、“TK-DUX51BK” に付属のユーザーズマニュアルをご覧ください。

※このドライバー設定ガイドは、Windows® 10 の画面で説明しています。

画面は OS によって異なりますが、操作は同じです。

ドライバーを起動する

→ 2 ページ

ドライバーの画面について

→ 3 ページ

キーの機能を設定する

→ 5 ページ

各種機能設定画面を起動する

→ 16 ページ

マクロを設定する

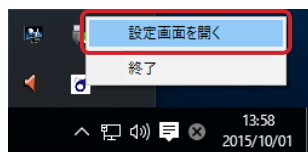
→ 21 ページ

PC1/PC2 のキー設定を一括で管理する

→ 32 ページ

ドライバーを起動する

- 1** タスクトレイまたは通知領域の  アイコンをクリックして「設定画面を開く」をクリックします。



- Windows® 10、Windows® 8.1/8、Windows® 7で通知領域に  が表示されている場合は、 をクリックして  アイコンを右クリックし、「設定画面を開く」をクリックします。

- 2** ドライバーの設定画面が表示されます。

ゲーミングキーボードを接続後、ドライバーの初回起動時は、ゲーミングキーボードの本体メモリに保存されている設定が読み込まれます。



ゲーミングキーボードを接続せずにドライバーを起動すると、右の画面が表示されます。
必ず本製品を接続して操作してください。



ドライバーの画面について



1 プロファイル選択部

5つのプロファイルが設定できます。5つのプロファイル（プロファイル1～5）にそれぞれ異なるボタン設定を登録でき、プロファイルを切り替えることで設定をまとめて切り替えることができます。

詳細は、➡「[キーの機能を設定する](#)」を参照してください。

2 キー選択部

機能を設定したいキーを選択します。PC1に機能が設定されるとキーが■に、PC2に機能が設定されると■に変わります。キーを選択すると機能設定部にキーの名称と機能名が表示されます。

詳細は、➡「[キーの機能を設定する](#)」を参照してください。

③機能設定部

選択されているキーに割り当てられている機能が表示されます。

PC1 には PC1（有線接続側）を操作時の機能が、PC2 には PC2（無線接続側）を操作時の機能が表示されます。

キーの機能を変更するには、機能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を選択します。

詳細は、👉「[キーの機能を設定する](#)」を参照してください。

④各種機能設定ボタン

本体メモリ管理、マクロ設定画面、その他機能設定をする画面を起動します。

詳細は、👉「[各種機能設定画面を起動する](#)」を参照してください。

⑤PC1/PC2 一括編集ボタン

PC1/PC2 のキー設定を一括して PC2/PC1 にコピーしたり、PC1/PC2 のキー設定をそれぞれ一括で削除できます。

詳細は、👉「[PC1/PC2 のキー設定を一括で管理する](#)」を参照してください。

⑥キーボード・マウス切替ボタン

本製品と弊社製 MMO ゲーミングマウス「M-DUX70BK」を同時に使用する場合に、ドライバー設定画面を切り替えて使用できます。

キーの機能を設定する

プロファイルを選択する

最初にプロファイルを選択します。キー設定の内容が、選択したプロファイルに登録されます。



チャットや文字入力用に設定を変更しないプロファイルを1つ残しておくことをお勧めします。



キーの機能を設定する

キー選択部で機能を設定したいキーをクリックして選択します。キーを選択すると機能設定部にキーの名称と機能名が表示されます。



キーの機能を変更するには、機能設定部で機能名をクリックし、表示されたボタン設定画面で機能を選択します。

キーの機能を設定するには

次の手順は、PC1 の「F8」に「音量ミュート」を、PC2 の「F8」に「メディアプレーヤーを開く」を割り当てる場合を例として説明します。

1 キー選択部で設定したいキーをクリックします。

機能設定部に選択したキーの設定内容が表示されます。



2 機能設定部で PC1 の機能名をクリックします。

ボタン設定画面が起動します。



3 ボタン設定画面の「音量」の「音量ミュート」をクリックします。

選択した機能が赤く表示されます。

設定できる機能の詳細は、➡「[ボタン設定画面](#)」参照してください。



4 **登録する** をクリックします。



- 5** キーに機能を設定するとキーの左半分の色が濃い赤色になり、マークが表示されます。
これで、キーに機能が設定されました。



PC1 の操作で「F8」を押すと、「音量ミュート」が実行されます。

- 6** 続いてキー選択部で設定したいキーをクリックします。
機能設定部に選択したキーの設定内容が表示されます。



7 機能設定部で PC2 の機能名をクリックします。

ボタン設定画面が起動します。



8 ボタン設定画面の「その他の機能」の「メディアプレーヤーを開く」をクリックします。

選択した機能が赤く表示されます。



9 登録する をクリックします。



- 10** キーに機能を設定するとキーの右半分の色が濃い青色になり、マークが表示されます。これで、キーに機能が設定されました。



PC2 の操作で「F8」を押すと、「メディアプレーヤーを開く」が実行されます。

ボタン設定画面



マウス

左クリック	左クリックします。
右クリック	右クリックします。
ホイールクリック	ホイールをクリックします。
ボタン 4 (戻る)	ボタン 4 の機能を割り当てます。Web ブラウザでは「戻る」操作になります。
ボタン 5 (進む)	ボタン 5 の機能を割り当てます。Web ブラウザでは「進む」操作になります。

ホイール

ホイール UP	ホイール UP の機能を割り当てます。
ホイール DOWN	ホイール DOWN の機能を割り当てます。
チルト左 (左スクロール)	Web ブラウザ等で左にスクロールします。
チルト右 (右スクロール)	Web ブラウザ等で右にスクロールします。

カーソル有効 / 無効設定

有効 / 無効の切替	マウスカーソルの有効 / 無効を切り替えます。 例 :PC1 に割り当ててボタンを押すと、PC1 のマウスカーソル動作が有効 / 無効になります。
押下中のみ切替	ボタンを押しているあいだのみマウスカーソルの有効 / 無効を切り替えます。

音楽

再生 / 一時停止	メディアプレーヤーを再生 / 一時停止します。*
停止	メディアプレーヤーの再生を停止します。*
次のトラック	メディアプレーヤーの次のトラック / チャプター / ファイルの先頭に進みます。*
前のトラック	メディアプレーヤーの 1 つ前のトラック / チャプター / ファイルの先頭に戻ります。*

※使用するプレーヤーソフトによっては動作しないことがあります。

音量

音量 上げる	Windows® の音量設定を上げます。
音量 下げる	Windows® の音量設定を下げます。
音量ミュート	Windows® の音量設定を消音にします。

その他機能

メディアプレーヤーを開く	既定のプログラムに設定されているメディアプレーヤーを起動します。
Web ブラウザを起動	標準の Web ブラウザを起動します。
電卓を開く	電卓を起動します。
設定画面を開く	ドライバの設定画面を開きます。
マイコンピュータを開く	Windows® のエクスプローラから「PC」(Windows® 7 では「コンピューター」)を開きます。

マクロ

選択したマクロをキーに割り当てます。

マクロ設定画面の詳細やマクロの作成方法については、🔗「マクロを設定する」を参照してください。



《設定方法》

- ① **登録するマクロ選択** をクリックします。

マクロ選択画面が表示されます。

- ② 設定したいマクロをクリックします。

- ③ **マクロ登録** をクリックし、マクロ選択画面を閉じます。

❗ マクロを設定したキーのマクロを削除すると、キー設定は初期設定に戻ります。

無効

ボタン

クリックすると登録した機能を「なし」の状態にします。

初期設定に戻す

ボタン

クリックすると現在設定されている機能を初期設定に戻します。

キャンセル

ボタン

クリックすると選択した機能を設定せずにメイン画面に戻ります。

登録する

ボタン

ボタン設定画面で選択した機能をキーに登録します。

各種機能設定画面を起動する

本体メモリ管理、マクロ設定画面、その他機能設定をする画面を起動します。



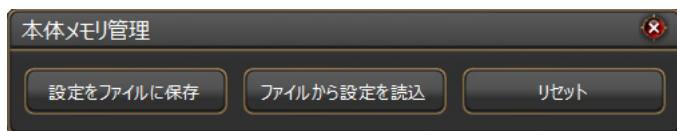
「本体メモリ管理」設定画面起動

「その他機能」設定画面起動

「マクロエディタ」起動

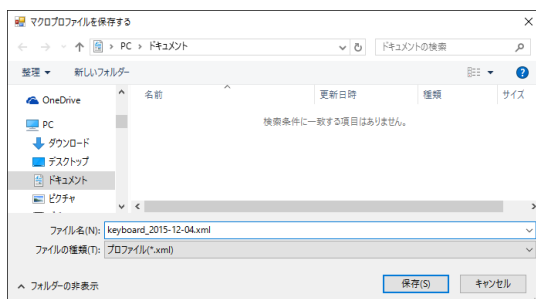
「本体メモリ管理」設定画面起動ボタン

クリックすると「本体メモリ管理」設定画面が起動します。

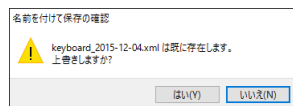


設定をファイルに保存 ボタン

設定したゲーミングキーボードの本体メモリをパソコンのファイルとして保存します。ボタンをクリックすると、名前を付けて保存ダイアログボックスが表示されます。



同じ名前のファイルがある場合、上書きしてもよいか確認のメッセージが表示されます。



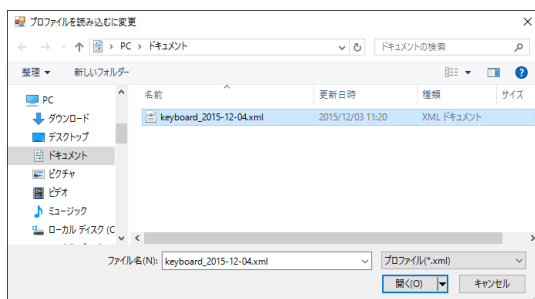
ファイルから設定を読み込む ボタン

パソコンに保存されているファイルをゲーミングキーボードの本体メモリに読み込みます。

ボタンをクリックすると、確認のメッセージが表示されます。



OK をクリックすると「開く」ダイアログボックスが表示されます。



保存したファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。

ゲーミングキーボードの本体メモリにファイルの内容が読み込まれます。

全ての設定をリセット ボタン

ゲーミングキーボードの本体メモリに保存したすべての設定（機能割り当て、キーボードに保存されているマクロなど）をリセットし、初期設定に戻します。

ボタンをクリックすると確認のメッセージが表示されます。



OK をクリックするとすべての設定がリセットされ、初期設定に戻ります。

「マクロエディタ」起動ボタン

クリックすると「マクロ設定画面」が起動します。



一連の操作をマクロとして作成します。作成したマクロは、ゲーミングキーボードの本体メモリに保存したあと、ボタン設定画面でボタンに割り当てることで使用できるようになります。詳細は、➡「マクロを設定する」を参照してください。

「その他機能」設定画面起動ボタン

クリックすると「その他機能」設定画面が起動します。



☐ 設定変更時にミニウインドウを表示する

チェックボックスをオンにすると、プロファイル切り替え時に設定内容をミニウインドウでデスクトップの左上に表示するようになります。



本製品は設定をゲーミングキーボード本体に保存するので、ドライバーがインストールされていないパソコンでも設定は有効ですが、ミニウインドウはドライバーがインストールされていないパソコンでは表示されません。

☐ Windows のマウスカーソル加速を強制的に無効にする

チェックボックスをオンにすると、Windows® のマウスカーソル加速を無効にします。Windows® のマウスカーソル加速が有効になっている場合、マクロで「マウスカーソル移動」のアクションが正しく動作しません。

マクロを設定する

一連の操作をマクロとして作成します。作成したマクロは、保存（ゲーミングキーボードの本体メモリに自動的に保存されます）した後、ボタン設定画面でキーに割り当てることで使用できるようになります。

マクロ設定画面



① キーボードに保存したマクロ

ゲーミングキーボードの本体メモリに保存されているマクロの名前と容量が表示されます。



② メモリ残量

ゲーミングキーボードのメモリの残量が表示されます。マクロは 5Kbyte まで作成できます。

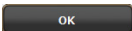
本体メモリの残量が足りない場合は、エディタの内容をファイルとしてパソコンに保存する機能を利用してバックアップしたあと、本体メモリに保存されているマクロを削除し、空き容量を確保してください。

③ 削除ボタン

ゲーミングキーボードの本体メモリに保存されているマクロを削除します。

- ① 削除するマクロ名を選択し、 をクリックします。
削除確認のメッセージが表示されます。

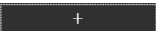


- ②  をクリックします。
ゲーミングキーボードの本体メモリからマクロが削除されます。

④ キーボードにマクロを保存

エディタの内容をゲーミングキーボードの本体メモリにマクロとして保存します。保存したマクロは「キーボードに保存したマクロリスト」に表示されます。

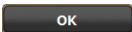
エディタの内容を新しいマクロとして保存するとき

- ① 「キーボードに保存したマクロ」の  をクリックします。

- ②  をクリックします。

マクロ名を入力ダイアログボックスが表示されます。

- ③ キーボードでマクロの名前を入力します。

- ④  をクリックします。

新しいマクロが本体メモリに保存されます。



保存したマクロ名と同じ名前の場合、新しいマクロとして保存できません。

既存のマクロを上書きする場合は、「エディタの内容を作成済みのマクロに上書きするとき」の手順で上書きしてください。



5 エディタに読み込み

「キーボードに保存したマクロ」のマクロをエディタに読み込みます。

作成済みのマクロをエディタに読み込むとき

①「キーボードに保存したマクロ」でマクロ名をクリックします。

②  をクリックします。

エディタにマクロの内容が表示されます。

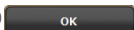
エディタの内容を作成済みのマクロに上書きするとき

①「キーボードに保存したマクロ」で上書きするマクロ名をクリックします。

②  をクリックします。

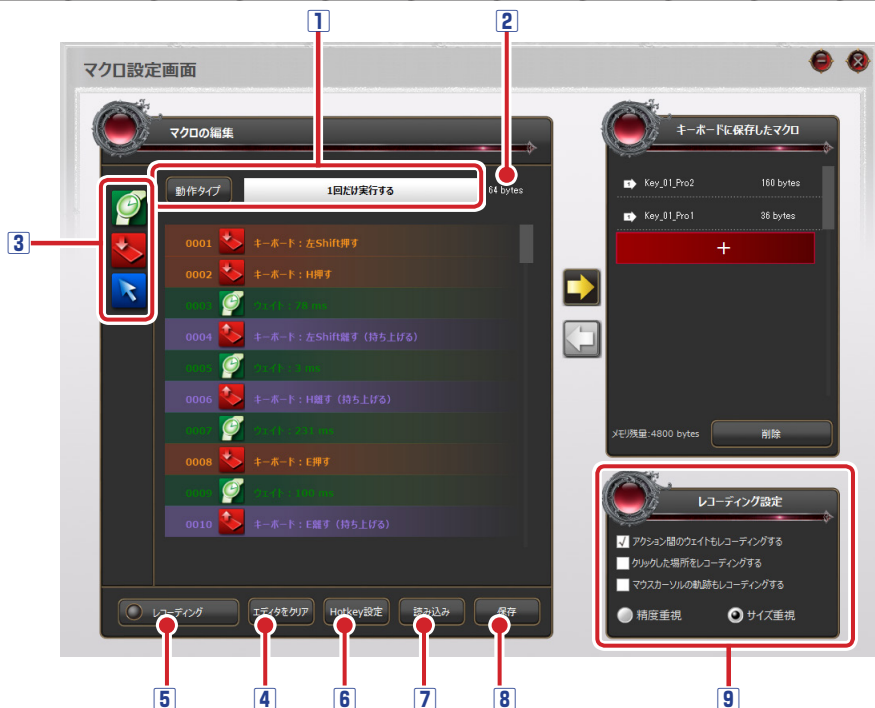
上書き確認のメッセージが表示されます。



③  をクリックします。

マクロが本体メモリに上書き保存されます。

マクロを編集する



1 動作タイプ

マクロの動作タイプを設定します。

動作タイプ をクリックするたびに、次の 3 タイプが切り替わります。

「1 回だけ実行する」

「もう一度キーを押すまで実行し続ける」

「キーを押している間実行し続ける」

2 編集中のマクロの容量

エディタで作成または編集中のマクロの容量を表示します。

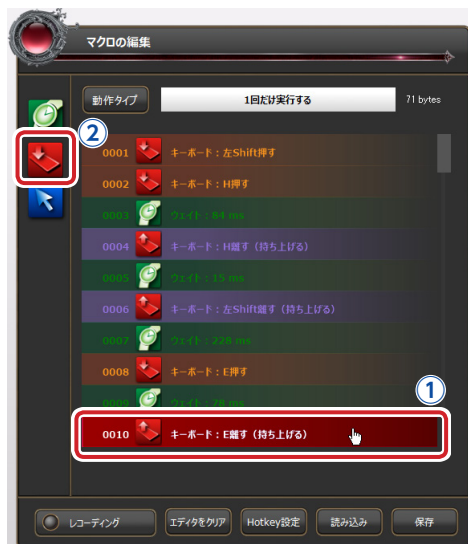
3 エディタ

マクロを作成します。マクロのコマンドおよびアクションは、エディタの上から順番に動作されます。

コマンドまたはアクションを追加するとき

エディタ上の追加したいコマンドまたはアクションをクリックして選択①し、コマンドまたはアクションのアイコンをクリック②します。

選択中のコマンドまたはアクションの上の行に新しいコマンドまたはアクションが追加されます。

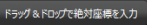




「ウェイト (待機時間)」コマンドを追加する場合は、アイコンをクリックしてから、次の方法でウェイト (待機時間) を設定します。

- コマンドをダブルクリックして表示されるマクロ編集ダイアログボックスで待機時間 (単位: ms) を入力し、**OK** をクリックします。



	・「キーを押す」アクションを追加する場合は、アイコンをクリックしてから、キーボードで設定するキーを押します。 ・「マウスボタンを押す」アクションを追加する場合は、アイコンをクリックしてから、設定するマウスボタンを押します。 ・「スクロールホイール上下」アクションを追加する場合は、アイコンをクリックしてから、スクロールホイールを設定する方向に回します。 ❗ チルト（左右のスクロール）はマクロに登録できません。
	「マウスカーソル移動」アクションを追加する場合は、アイコンをクリックしてから、次の方法で移動座標を設定します。 ① 移動座標の種類を「相対座標」または「絶対座標」から選択し、X/Yそれぞれに座標を入力します。 絶対座標の場合は、 をクリックし、そのままドラッグすることで、絶対座標を入力できます。  絶対座標：現在のマウスカーソルの位置を問わず、指定した座標にカーソルを移動します。 相対座標：現在のマウスカーソルに位置から指定した座標分だけカーソルを移動します。 ②  をクリックします。 座標が反映されます。  ❗ 「マウスカーソル移動」アクションが正しく動作しない場合は、「その他」設定画面の「Windowsのマウスカーソル加速を強制的に無効にする」でチェックマークを付けてください。

エディタの操作

- ・コマンドおよびアクションの順番はドラッグ & ドロップで入れ替えできます。
- ・連続した複数のコマンドおよびアクションを選択するには、[Shift] キーを押しながらクリックします。
- ・コマンドおよびアクションをコピーするには、[Ctrl] キー + [C] キーを押します。
- ・コマンドおよびアクションを貼り付けるには、挿入したい位置の下のコマンドまたはアクションを選択し、[Ctrl] キー + [V] キーを押します。選択中のコマンドまたはアクションの上の行に追加されます。
- ・コマンドおよびアクションを削除するには、[Delete] キーを押します。

エディタ上に表示されるアイコン

	「ウェイト（待機時間）」コマンドを示します。ダブルクリックで表示されるダイアログボックスで設定を変更できます。
	「キーを押す」アクションを示します。
	「キーを離す」アクションを示します。
	「マウスボタンを押す」アクションを示します。
	「マウスボタンを離す」アクションを示します。
	「スクロールホイール上」アクションを示します。
	「スクロールホイール下」アクションを示します。
	「カーソル相対座標移動」アクションを示します。ダブルクリックで表示されるダイアログボックスで設定を変更できます。
	「カーソル絶対座標移動」アクションを示します。ダブルクリックで表示されるダイアログボックスで設定を変更できます。
	コマンドをマクロから追加したときに表示されます。レコーディングしたアクションには表示されません。

④ エディタをクリア

エディタの内容をすべて削除します。



マクロの新規作成時、前の編集内容が表示されているときは **エディタをクリア** をクリックしてください。

⑤ レコーディング

実際にキーボードやマウスボタンで操作した内容を記録し、マクロとして使用することができます。 **レコーディング** をクリックすると、レコーディングの準備状態に入り、[F10] キー（初期設定）でレコーディングをスタート / ストップします。

⑥ Hotkey 設定

[F10] キーが他のアプリケーションソフトに割り当てられている場合は、レコーディングをスタート / ストップするキーを初期設定（[F10] キー）以外に変更します。

Hotkey設定 をクリックし、設定するキーボードのキーを押します。

7 読み込み

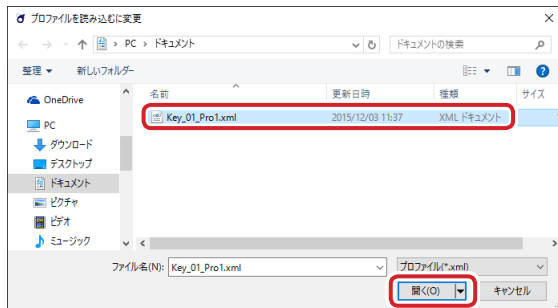
ファイルとしてパソコンに保存したエディタの内容をエディタに読み込みます。

エディタの内容をパソコンに読み込むとき

- ① **読み込み** をクリックします。

[開く] ダイアログボックスが表示されます。

- ② 保存したファイルを選択し、**開く(O)** をクリックします。
エディタにファイルの内容が読み込まれます。



8 保存

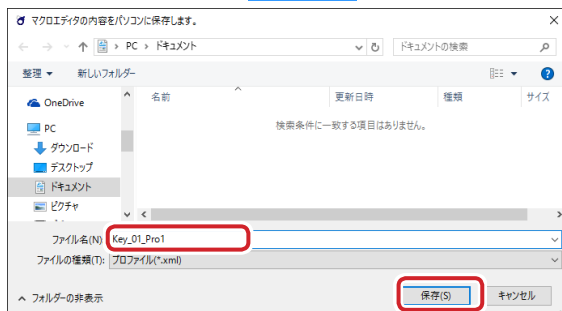
エディタの内容をファイルとしてパソコンに保存します。

エディタの内容をパソコンに保存するとき

- ① **保存** をクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

- ② ファイル名を入力し、**保存(S)** をクリックします。



9 レコーディング設定

レコーディング機能を使ってマクロを定義する際の設定をします。



アクション間のウェイトもレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のウェイト（待機時間）も記録されます。

クリックした場所をレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のマウスカーソルをクリックした座標も記録されます。

マウスカーソルの軌跡もレコーディングする

チェックマークを付けると、レコーディング操作中のマウスカーソルの軌跡も記録されます。

レコーディングの精度を「精度重視」または「サイズ重視」から選択します。「精度重視」は「サイズ重視」よりカーソルの記録間隔が細くなり、なめらかなカーソル移動が再現できますが、消費メモリサイズが大きくなります。

マクロを作成する例

次の手順は、キーボードの [H] キー、[e] キー、[l] キー、[l] キー、[o] キー、[Enter] キーを順番に押すマクロを作成する場合を例として説明します。

1 メイン画面で[マクロエディタ]をクリックします。



マクロ設定画面が起動します。

2 動作タイプをクリックし、マクロの動作タイプを設定します。



3 必要に応じて、レコーディング設定を設定します。

4 レコーディングでマクロのコマンドまたはアクションを追加します。

① ☒ レコーディング をクリックします。

② キーボードの [F10] キー（初期設定）を押し、レコーディングをスタートします。

③ キーボードの [H]、[e]、[l]、[l] [o]、[Enter] の順にキーを押します。

④ キーボードの [F10] キー（初期設定）を押し、レコーディングをストップします。

 ウェイト（待機時間）を記録しない場合は、「アクション間のウェイトもレコーディングする」のチェックマークをはずしてください。

- 5 「キーボードに保存したマクロリスト」の  をクリックし、 をクリックします。

マクロ名を入力ダイアログボックスが表示されます。

- 6 マクロの名前を入力し、 をクリックします。

新しいマクロが本体メモリに保存されます。



「キーボードに保存したマクロ」には作成したマクロが表示されます。



- 7  をクリックし、マクロ設定画面を終了します。

これで、マクロが作成されました。

作成したマクロは、ボタン設定画面でキーに割り当てることができます。

PC1/PC2 のキー設定を一括で管理する

PC1/PC2 のキー設定を一括で管理します。次の項目が操作できます。

- ・ PC1 のキー設定を PC2 に一括でコピーする
- ・ PC2 のキー設定を PC1 に一括でコピーする
- ・ PC1/PC2 のキー設定をそれぞれ一括で削除する
- ・ PC1 のキー設定を工場出荷時の状態に初期化する

設定した内容は自動的にゲーミングキーボードの本体メモリに保存され、すぐに反映されます。



「PC1/PC2 一括編集」ボタン

クリックすると「一括編集」画面が起動します。



一括コピー

PC1/PC2 のキー設定をそれぞれもう一方に一括でコピーします。

 : PC1 のキー設定を PC2 に一括コピーします。

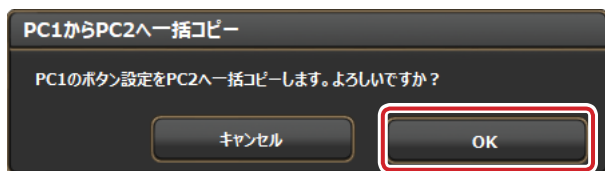
 : PC2 のキー設定を PC1 に一括コピーします。

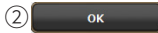
《設定方法》

PC1 のキー設定を PC2 に一括コピーする場合

①  をクリックします。

「PC1 から PC2 へ一括コピー」ダイアログボックスが表示されます。



②  をクリックします。

PC1 から PC2 へキー設定が一括コピーされます。

削除

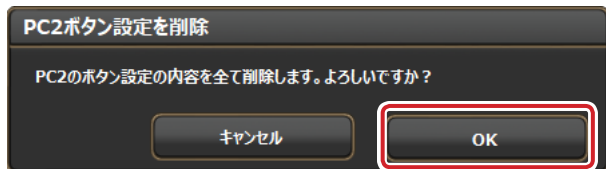
PC1/PC2 のキー設定をそれぞれ一括で削除します。

《設定方法》

PC2 のキー設定を一括で削除する場合

- ① PC2 の **削除** をクリックします。

「PC2 ボタン設定を削除」ダイアログボックスが表示されます。



- ② **OK** をクリックします。

PC2 のキー設定がすべて削除されます。

リセット

PC1 のキー設定を工場出荷時の状態に初期化します。

《設定方法》

- ① **リセット** をクリックします。

「PC1 ボタン設定を初期化」ダイアログボックスが表示されます。



- ② **OK** をクリックします。

PC1 のキー設定が工場出荷時の状態に初期化されます。



工場出荷時の状態に初期化されるのは、PC1 のキー設定のみです。PC2 のキー設定などは初期化されません。

MMO ゲーミングキーボード TK-DUX51BK

ドライバー設定ガイド

2017 年 7 月 20 日 第 2 版

- 本マニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本マニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- 本マニュアルの内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- その他記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。